



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Rotary 2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



岩国西ロータリークラブ
HPのQRコード



撮影 細田正躬



岩国西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT, ROTARY CLUB OF IWAKUNI WEST

2021年11月26日(金)第2492回例会

《 ロータリー財団月間 》

ロータリーソング「友達になろう」
「四つのテスト」唱和

ゲスト卓話 伊藤隆二様
株式会社ミルテル 営業部

『 リキッドバイオプシー検査
(ミアテストプラチナ)のご紹介 』

次週12月3日(金)のプログラム
年次総会

国際ロータリー第2710地区 岩国西ロータリークラブ

事務局 〒741-0062 岩国市岩国一丁目1-7 岩国国際観光ホテル内
TEL (0827) 43-1323 FAX (0827) 41-1335
E-mail ro@iwrc.jp
HP <http://iwakuni-west.com>

例会場 毎週金曜日 12:30~13:30
岩国国際観光ホテル TEL (0827) 43-1111
会長/兼田 康史 副会長/大田 謙二 幹事/茶藤 淳一
編集者 雑誌会報委員長/柳崎 茂

四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

※国際ロータリーのロータリー財団から、2020-21年度の寄付協力に対する感謝状とバナーが届いております。

End Polio Now: 「歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状

(ロータリーのポリオ根絶活動に少なくとも1,500ドルを寄付したクラブに贈られます。)

※第71回山口県総合社会福祉大会において、赤い羽根共同募金運動へ5年以上協力した団体として当クラブが表彰されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会の開催自体は中止となりましたが、表彰状が贈呈されました。

幹事報告

1) 「定例理事会」のご案内

次週例会後に開催しますので、役員・理事の方はご出席よろしくお願ひします。

2) 12月度クラブスケジュール

【岩国西】 3日(金) 年次総会 第3回100万ドルの食事

10日(金) 地区会員増強委員会 西村榮時カウンセラー卓話ビデオ上映

17日(金) ゲスト卓話 釘屋文雄様(有)サンワ企画会長・竹島秀治様 Verbatim Japan代表

24日(金) ゲスト卓話 蔵本りさ様 ジャズシンガー

31日(金)※例会変更 休会(定款適用)

【岩国】 2日(木) 年次総会・IM実行委員長 山本茂男様

9日(木) イニシエーション・スピーチ 堀川功次郎様 (株)マルホ 代表取締役

16日(木) イニシエーション・スピーチ 藤中整様 (株)松重設計 代表取締役

23日(木)※例会変更 年末親睦家族例会 於：岩国国際観光ホテル 18：30～

30日(木)※例会変更 休会(定款適用)

【岩国中央】 1日(水) ゲスト卓話 原田理恵様 山口県健康増進課

8日(水) ゲスト卓話 光井純様 光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所(株)代表取締役

15日(水) ゲスト卓話 森橋新祐様 岩国駅前再開発 準備組合理事長

22日(水)※例会変更 年末親睦夜間例会 於：半月庵 19：00～

29日(水)※例会変更 休会(定款適用)

【大竹】 7日(火) 年次総会

14日(火)※例会変更 休会(定款適用)

21日(火) 未定

28日(火)※例会変更 休会(定款適用)



会長エレクト報告

※11/23(火・祝)広島コンベンションホールにおいて、「地区・クラブ活性化ワークショップ」が開催され、会長エレクトとして参加してまいりました。

【主催】 杉川聡ガバナー、藤中秀幸 地区研修リーダー

【参加者】 会長エレクト

【目的】 所属クラブの理解の深化と、他クラブとの情報交換によるロータリー活動の活性化。



幻の『論語に学ぶ』同好会?! ②

殆んどの方は、孔子の説いた『論語』のいくつかの章句を知っておられるはずです。論語は、儒教の祖・孔子とその弟子たちの言行を孔子の死後編纂したと言われ、その思想は2500年を経た今なお、私たちの心に深く根付いています。孔子の説いた教えは思いやりの心『仁』とともに、『徳』に重きを置いた政治の実現を目指したと言われてはいますが、残念ながら政治の世界で注目されることはなかったようです。しかしこの教えこそ、論語を生んだ中国の人たち、そして政治家、政治を志す皆さんに学んでほしいと切望するのは、わたしだけではないはずです。

さて、わたしと『論語』の出会いが高校時代の漢文の科目で、担任は小柄な方でしたが精悍な白石義人という先生でした。また教わった李白や杜甫の詩を吟じる変なわたしでした。当時覚えた漢詩や章句は忘れるものではありませんが、今思うことは、もっとことばの意味するその精神を学び、実践に移すべきであったと反省しきりです。

詩吟と言え、わたしにはチョット恥ずかしい武勇伝(?)があります。妻と見合いで知り合いドライブデート中でしたが、そこで詩を吟じたのです。『エー!、ナニこの人!!』と驚いたに違いありません。奇異に感じさせるムード台無しの所業でしたが無事結ばれ、今やともに後期高齢者、50年以上連れ添っています。この数年は毎朝出かける前に、日ごろの感謝や元気であることへの願いを込めハグし続けています。

社会人として改めて論語を学び始めたのは約15年前のことでした。これも論語からとった名称『不器の会』（日本の素晴らしい伝統・風俗・習慣・文化を後世に引き継ぐ目的の会）で、和装・マイチョコ・マイ箸を持って集うのが約束ごとの会です。わがクラブにも数名の仲間がおられます。その会で論語を学ぶことになり、ご指導をお願いした方が、すでに周東町で論語塾を開いておられた今年度わがクラブの会長兼田康史さんでした。

そして7年前から、教育委員会が主導する放課後教室の一環として、岩国小学校で藩校の名称を冠した『養老館親子論語塾』を、兼田さんを講師に八百谷俊昭さんとわたしがお世話し、月に一回、年12回の教室を持っています。参加者は7家族約20名の熱心な親子が集まり、まずは姿勢を正し、黙想から始まり、大きな声で論語を素読し、暗誦した成果を発表しています。わがクラブの熊谷正信さんのご子息慶照君（高校2年生）は、開塾時の優秀な塾生で塾頭的リーダーでした。『親子論語塾』は、細やかな青少年奉仕活動でしょうか。



養老館親子論語塾風景

さて、兼田さんがクラブ会長にノミネートされたときから、参加希望があるかどうか不安でしたが、『論語に学ぶ』同好会の計画が密かに進んでいました。開設要綱も整い、皆さんに案内する寸前にあの忌まわしいコロナです。残念ながら三人の目論見は破れ、『同好会』は幻に終わってしまいました。

みんなが大きな声で『子(し)、日(のたま)わく!』と張りあげ、ひと年を経てなお論語に学び、進むべき道を確認し合うことも今必要なことかも知れません。

【西村榮時】